

令和7年度事務事業一覧表

課名: 都市計画課

事業番号	事業名	内容	対象外項目番号
1	都市計画決定事業	都市計画決定事務、都市計画審議会事務、県都市計画実務担当者連絡協議会参加	①
	まちづくり推進事業		
2	まちづくり条例事務事業	大磯町まちづくり条例運用事務、大磯町まちづくり基本計画見直し事務	②
3	住居表示事務事業	住居表示制度運用事務、神奈川県住居表示施行都市協議会参加	①
4	空き家・住環境施策事務事業	空き家・住環境に関する相談等の対応事務、空き家等対策協議会の開催・運営事務、神奈川県住環境整備事業推進協議会参加、神奈川県地域住宅協議会参加	-
	開発建築事業		
5	開発建築事務事業	建築基準法、都市計画法及びまちづくり条例に基づく指導調整事務	①
6	国土利用計画法事務事業	国土利用計画法の届出に関する事務	⑦
7	公有地の拡大の推進に関する法律事務事業	公有地の拡大の推進に関する法律の届出に関する事務	⑦
	景観づくり事業		
8	景観法・景観計画運用事務事業	景観法及び大磯町景観計画の運用事務	①
9	屋外広告物事務事業	神奈川県屋外広告物条例の運用事務	①
	住宅安全対策事業		
10	耐震改修補助事務事業	住宅の耐震診断及び耐震補強工事等の補助に関する事務、ブロック塀の撤去費の補助に関する事務	-
11	建築物震後対策事務事業	神奈川県建築物震後対策推進協議会参加	②
	都市交通推進事業		
12	都市交通事務事業	廃止路線バス運行補助事務、乗合タクシー運行委託事務、大磯町地域公共交通会議事務、地域公共交通計画事務	-
	歴史的建造物等維持管理事業		
13	歴史的建造物等整備事務事業	歴史的建造物の保全及び活用事務、大磯町邸園文化交流事業補助事務、大磯町歴史的建造物等整備基金積立事務	-
14	歴史的建築物の保存及び活用に関する条例事務事業	歴史的建築物の保存及び活用に関する条例の運用事務	⑦
15	大磯駅前用地維持管理事業	旧駐輪場跡地及び大磯町土地開発公社所有地(その他用地)の維持管理事務	②
16	大磯駅前広場整備事業	大磯駅前広場の整備工事実施	③
17	都市公園等管理運営事業	公園・緑地の維持管理事務、公園緑地里親制度事務	-
18	運動公園維持管理事業	指定管理者制度に基づく大磯運動公園の管理事務	-
19	明治記念大磯邸園維持管理事業	明治記念大磯邸園(開園区域)の維持管理事務	①
20	花とみどり推進事業	いけがき設置奨励事務、シンボルツリー奨励事務、保存樹木・保存樹林奨励事務、花いっぱい運動事務	-
21	みどり基金積立事業	大磯町みどり基金積立事業	②
22	森林病虫害等対策自主事業	松くい虫による被害拡大の防止事務、ナラ枯れ被害対策事務	-
23	明治記念大磯邸園整備事業	明治記念大磯邸園の開園に向けた整備工事実施	③
24	公園施設更新事業	老朽化した公園施設の更新に係る工事実施	③
25	公園災害復旧事業	公園施設等の災害被害からの復旧工事実施	③

令和7年度事務事業一覧表

事業番号	事業名	持続可能な開発目標 (SDGs)																
		G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	G10	G11	G12	G13	G14	G15	G16	G17
1	都市計画決定事業									○	○							○
	まちづくり推進事業																	
2	まちづくり条例事務事業									○	○							○
3	住居表示事務事業										○							
4	空き家・住環境施策事務事業	○						○		○	○	○						○
	開発建築事業																	
5	開発建築事務事業										○							○
6	国土利用計画法事務事業			○	○				○		○							○
7	公有地の拡大の推進に関する法律事務事業			○										○				
	景観づくり事業																	
8	景観法・景観計画運用事務事業										○					○		○
9	屋外広告物事務事業										○							
	住宅安全対策事業																	
10	耐震改修補助事務事業										○							
11	建築物震後対策事務事業										○							○
	都市交通推進事業																	
12	都市交通事務事業										○							
	歴史的建造物等維持管理事業																	
13	歴史的建造物等整備事務事業										○							
14	歴史的建築物の保存及び活用に関する条例事務事業										○							
15	大磯駅前用地維持管理事業										○							
16	大磯駅前広場整備事業			○							○							○
17	都市公園等管理運営事業			○	○				○		○							○
18	運動公園維持管理事業			○	○				○		○							○
19	明治記念大磯邸園維持管理事業			○	○				○		○							
20	花とみどり推進事業			○	○				○		○		○					○
21	みどり基金積立事業										○		○		○			○
22	森林病害虫等対策自主事業										○		○		○			
23	明治記念大磯邸園整備事業			○	○						○							
24	公園施設更新事業			○	○						○							
25	公園災害復旧事業			○	○						○							

予算事業名	まちづくり推進事業				事業番号	03 - 12 - 04						
細分事業名	空き家・住環境施策事務事業				シート作成日	令和7年8月14日						
予算科目	会計	01	款	08	項	04	目	01	事業	03	事業開始年度	平成25年度
											事業終了予定年度	—
部等名				課等名				係名				
都市建設部				都市計画課				開発指導係				

計画 (Plan)	総合計画	P 66	柱	Ⅲ 快適でくらしやすいまちづくり					
			部門	20 住宅・住環境					
			大施策	A 良好な居住空間の形成					
			中施策	(3) 空き家等対策の推進					
			施策目標	空き家の等の適正な管理及び利活用の促進					
	事業の概要			根拠法令・条例等			空家等対策の推進に関する特別措置法		
				個別計画等			大磯町空家等対策計画		
	行政経営プラン 実施計画事業			実施番号	—		実施項目名	—	
	目的 (何のために)			適切な管理が行われていない空家等が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしており、地域住民の生命・身体・財産の保護、生活環境の保全、空き家等の活用のため。					
	対象 (誰を・何を)			空き家所有者、利活用希望者、事業者等、新たな空き家対策の担い手や連携体制					
内容			空き家に関する協定団体や神奈川県居住支援協議会の知識や経験を生かして、空き家の予防・管理・利活用を促進する。						

実施 (Do)	執行体制										
	事業費	直接事業費 (a)	千円	R04年度 (決算)	90	R05年度 (決算)	96	R06年度 (決算見込)	322	R07年度 (予算)	3,211
		財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金								
			起債								
			その他								
			一般財源		90	96	322	3,211			
		職員人数 (概算職員数)	人	0.85	0.73	0.63	0.57				
	人件費計 (b)	千円	4,701	4,006	3,403	3,309					
	総事業費 (a) + (b)	千円	4,791	4,102	3,725	6,520					
事業費内訳 (千円) R 07 年度	空家等対策協議会委員報酬235千円、講師等謝金20千円、普通旅費12千円、消耗品費95千円、印刷製本費17千円、通信運搬費67千円、手数料58千円、委託料2,698千円、県住環境整備事業推進協議会負担金8千円、県地域住宅協議会負担金1千円										
指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値				
			空き家バンクの登録・活用件数				10件以上				
	指標名		単位	項目	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	R08年度 (目標)			
	対象指標 (対象者数等)	空き家に関する相談受付件数	件	—	73	42					
	活動指標 (活動量)	空き家に関する広報・印刷物などの周知活動や実態把握など	回	計画値	8	8	8				
				実績値	8	8					
成果指標 (達成度等)	空き家物件新規登録数	件	目標値	10	10	10	10				
			実績値	7	3						
定性的成果	—										

妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	③ 増大している		
	事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
	今後も町が実施すべき事業か	④ 町民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能		
効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
	関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	② 事業の方向性は適切であるが、手法は見直す余地がある		
公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-③ 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない	
過去の外部評価等における指摘事項	—			
主な改善経過(過去4年間)	R03 空家等対策計画の策定、空き家情報システムによる空き家情報の収集、所有者への意識調査 空き家利活用無料相談会 R04 空き家台帳の更新、所有者への意識調査、空き家利活用相談会、空き家予防冊子の作成 R05 空き家台帳の更新、所有者への意識調査、空き家利活用相談会、空き家予防冊子の作成 R06 空き家台帳の更新、所有者への意識調査、空き家利活用相談会、空き家予防冊子の作成			
課題	空き家情報のデータベース化と更新 空き家の所有者及び利活用希望者・事業者を結ぶ、新たな担い手の確保			

今後の方向性の判断	区分	拡充	R06年度	拡充	R05年度	拡充	R04年度	拡充
	理由	空家等に対する適切な管理と予防の推進を図る。 利活用可能な空き家の掘り起こし、空き家バンク等への登録促進、利活用希望者へのマッチングを促すことで、若者世代の移住を図る。 良好な住環境の維持及び地域の活性化へつなげていく。						
課題解決に向けて着手する取組事項	R07年度	悉皆調査を実施し、空き家台帳の更新を行う。 また、空き家所有者へ意向調査を行う。						
	R08年度	空き家所有者の意向に基づき、空き家の予防・管理・活用に向けた個別の課題解決策を推進する。						
R07年度改善事項	空家等台帳更新委託に基づき、外観目視による実態調査を実施した。 空き家台帳を更新し、空き家所有者への意向調査を行うことで、詳細な空き家の状況把握を行った。 大磯町空家等対策計画の改訂を行った。 空き家の利活用を促進するため解体工事とリフォーム工事の補助金制度を検討し、予算化に努めた。							
記入日	令和8年3月23日							

予算事業名	住宅安全対策事業				事業番号	03 - 12 - 10						
細分事業名	耐震改修補助事務事業				シート作成日	令和7年8月14日						
予算科目	会計	01	款	08	項	04	目	01	事業	06	事業開始年度	平成18年度
											事業終了予定年度	—
部 等 名				課 等 名				係 名				
都市建設部				都市計画課				開発指導係				

計 画 (P l a n)	総 合 計 画	P 66	柱	Ⅲ 快適でくらしやすいまちづくり			
			部 門	20 住宅・住環境			
			大 施 策	A 良好な居住空間の形成			
			中 施 策	(2) 都市防災機能の整備			
			施 策 目 標	誰もが安心して生活することができる災害に強いまちづくりを推進します。			
	事業の概要		根拠法令・条例等	建築物の耐震改修の促進に関する法律、大磯町住宅耐震化補助金交付要綱、大磯町危険ブロック塀撤去等補助金交付要綱			
			個別計画等	大磯町まちづくり基本計画、大磯町耐震改修促進計画			
			行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—
			目 的 (何のために)	地震時の住宅の倒壊等による人的被害の軽減を図るため。			
			対 象 (誰を・何を)	昭和56年5月31日以前に建築確認済証を取得した住宅			
		内 容	耐震診断、耐震補強設計、工事監理、耐震補強工事を推進するため、その経費の一部を補助する。				

実 施 (D o)	執行体制		単位	R04年度(決算)	R05年度(決算)	R06年度(決算見込)	R07年度(予算)	
	事業費	直接事業費(a)	千円	1,642	2,288	5,583	3,205	
		財 源 内 訳	国庫支出金	千円	775	932	2,278	1,464
			県支出金		392	522	1,372	1,083
			起債					
			その他					
			一般財源		475	834	1,933	658
	職員人数(概算職員数)		人	0.44	0.41	0.85	0.75	
	人件費計(b)		千円	2,408	2,238	4,262	4,022	
	総事業費(a)+(b)		千円	4,050	4,526	9,845	7,227	
事業費内訳(千円) R 07 年度		講師等謝金53千円、消耗品費8千円、印刷製本費99千円、住宅耐震改修等補助金2,795千円、危険ブロック塀撤去等補助金250千円						

指 標 値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			住宅の耐震化率				90%	
	指標名		単位	項目	R05年度(決算)	R06年度(決算見込)	R07年度(予算)	R08年度(目標)
	対象指標 (対象者数等)	耐震性のない住宅総数	戸	—	3,425	3,309		
	活動指標 (活動量)	普及啓発件数	件	計画値	7	7	7	
				実績値	6	8		
	成果指標 (達成度等)	耐震化率	%	目標値	90.04	90.10	90	
				実績値	76.74	77.58		
				達成率	85.2%	86.1%	0.0%	—
定性的成果		—						

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
事業の上位施策に向けた貢献度は大きい		③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している			
公平性	受益者負担は公平・公正か	A. 負担導入済	A-② 適正な受益者負担を導入している		
過去の外部評価等における指摘事項	H24年 B評価 耐震改修促進計画の目標とする耐震化率に達するためには、更なる啓発が必要となる。				
主な改善経過(過去4年間)	R03 個別の住宅耐震相談会を実施した。 R04 個別の住宅耐震相談会を実施した。 R05 個別の住宅耐震相談会を実施した。 R06 個別の住宅耐震相談会と地区出前講座を実施した。				
課題	耐震診断等に対し、補助額に上限があるため、一部自己負担が必要になる。近隣市町村の補助要件なども参考に、補助要件や上限額を見直す必要がある。				

改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R06年度	拡充	R05年度	縮小	R04年度	縮小
	理由	旧耐震基準の家屋の老朽化が進んでいるため、町の耐震計画を見直し、大地震の際に緊急輸送道路への影響を抑えるように、住宅耐震化を促進する必要があるため。							
	課題解決に向けて着手する取組事項	R07年度	住宅耐震化の促進のため、補助メニューの拡充の検討のほか、相談会を開催する。						
		R08年度	住宅耐震化の促進のため、補助メニューを拡充する。						
	R07年度改善事項	大磯地区に出前講座を行い、住宅耐震化のPRを行った。 申請件数の見込み増に対応するため、補正予算により住宅耐震改修等補助金を増額した。							
	記入日	令和8年3月23日							

予算事業名	都市交通推進事業					事業番号	03 - 12 - 12					
細分事業名	都市交通事務事業					シート作成日	令和7年8月14日					
予算科目	会計	01	款	08	項	04	目	01	事業	07	事業開始年度	平成18年度
											事業終了予定年度	—
部等名				課等名				係名				
都市建設部				都市計画課				開発指導係				

計画 (Plan)	総合計画	P 82	柱	V 元氣や活力が生まれるまちづくり								
			部門	28 道路・交通								
			大施策	B 快適な交通サービスの形成								
			中施策	(1) 地域公共交通の充実								
			施策目標	町民と協同し、多様化するニーズに応じた新たな公共交通の導入を図ります。								
	事業の概要			—								
	個別計画等			大磯町地域公共交通計画								
	行政経営プラン 実施計画事業			実施番号	—			実施項目名	—			
	目的 (何のために)			①路線バスの撤退が示された富士見地区(虫窪・黒岩・西久保地区)の公共交通の確保 ②公共交通の利用が不便な生活交通空白地域への新たな公共交通導入の検討								
	対象 (誰を・何を)			①虫窪・黒岩・西久保地区住民及び同地区を目的とする者 ②西小磯の一部地区								
内容			①富士見地区の路線バスの撤退申出を受け、撤退した路線バスの運賃を補助することで二宮駅-富士見地区間を中心とした路線バス運行事業者による運行を開始 ②地域住民有志団体「西小磯東地区地域交通推進の会」とともに検討を行い、当該地区に最も適した公共交通として乗合タクシーの運行を開始									

実施 (Do)	執行体制										
	事業費	直接事業費(a)	千円	R04年度(決算)	19,877	R05年度(決算)	18,148	R06年度(決算見込)	19,511	R07年度(予算)	22,762
		財源内訳	国庫支出金	千円	1,392						
			県支出金								
			起債								
			その他		388	452	559	452			
			一般財源		18,097	17,966	18,952	22,310			
		職員人数(概算職員数)	人	0.26	0.14	0.46	0.50				
	人件費計(b)	千円	1,063	826	826	3,180					
	総事業費(a)+(b)	千円	20,940	18,974	20,337	25,942					
事業費内訳(千円) R07年度	地域公共交通会議委員報酬98千円、普通旅費6千円、消耗品費0千円、印刷製本費0千円、事業委託料(乗合タクシー運行委託)2,545千円、生活交通確保対策事業補助金19,921千円、緊急交通不便地(富士見地区)対策補助金192千円										
指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値				
			新たな公共交通サービスの導入				2件				
	指標名		単位	項目	R05年度(決算)	R06年度(決算見込)	R07年度(予算)	R08年度(目標)			
	対象指標(対象者数等)	交通空白地居住者(富士見地区+乗合タクシー登録者)	人	—	970	970	970	1,000			
	活動指標(活動量)	乗車人数(年)(補助路線バス+乗合タクシー)	件	計画値	27,000	27,000	27,000	27,000			
				実績値	15,449	16,910	—	—			
	成果指標(達成度等)	新たな公共交通サービスの導入	目標値	2	2	2	2				
実績値			1	1	—	—					
達成率			50.0%	50.0%	—	—					
定性的成果	—										

妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
	事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
	今後も町が実施すべき事業か	④ 町民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能		
効率性	事業費に削減の余地はないか	① ある		
	関連・類似事業との統合はできないか	② 統合に向けた検討は可能		
有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	② 事業の方向性は適切であるが、手法は見直す余地がある		
公平性	受益者負担は公平・公正か	A. 負担導入済	A-① 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある	
	過去の外部評価等における指摘事項	—		
主な改善経過 (過去4年間)	R03 乗合タクシー本格運行5年目（前年度より、利用便数、利用者数の増加） R04 乗合タクシー本格運行6年目（前年度より、利用便数、利用者数の微減） R05 大磯町地域公共交通計画を策定し、交通サービスの拡充や国庫補助金の活用 R06 乗合タクシー本格運行8年目（前年度より、利用便数、利用者数の増加）			
課題	地域交通の一定のセーフティーネットとしての役割を果たしているが、コスト高ではないかとの指摘も受けていることから、少しでも町の財政負担を減らす取組みを行う必要がある。			

今後の方向性の判断	区分	維持	R06年度	維持	R05年度	維持	R04年度	維持
	理由	路線バス撤退地域や生活交通空白地域への交通手段として、限られた便数の中で、地域の児童、生徒の登下校、買物や通院など当初意図していた利用がなされており、交通セーフティーネットとしての役割を果たしている。						
課題解決に向けて着手する取組事項	R07年度	富士見地区の町補助路線バスの撤退申出により、新たな交通手段の導入を検討する。						
	R08年度	富士見地区の町補助路線バスの撤退申出により検討した新たな交通手段を導入する。						
R07年度改善事項	富士見地区での住民説明会の実施、回覧による意見募集、児童・生徒保護者向けアンケートの実施等により、地区の要望を聞きながら、補助路線バス撤退後の公共交通の在り方を検討した。 バス・タクシー交通事業者と意見交換を行い、富士見地区の交通について多角的に検討を行った。 検討を重ね、令和8年8月末までの補助路線バス運行実施、9月以降に開始するバス・タクシー借上げに要する費用の予算化に努めた。							
記入日	令和8年3月23日							

予算事業名	歴史的建造物等維持管理事業				事業番号	03 - 12 - 13						
細分事業名	歴史的建造物等整備事務事業				シート作成日	令和7年8月14日						
予算科目	会計	01	款	08	項	04	目	01	事業	08	事業開始年度	平成26年度
											事業終了予定年度	—
部等名				課等名				係名				
都市建設部				都市計画課				開発指導係				

計画 (Plan)	総合計画	P 68	柱	Ⅲ 快適でくらしやすいまちづくり			
			部門	21 景観形成			
			大施策	A 地域特性を生かした景観形成			
			中施策	(3) 歴史的建造物などの保存と活用			
			施策目標	歴史的または文化的価値の象徴となる建造物等の保全及び活用を図ります。			
	事業の概要		根拠法令・条例等	大磯町邸園文化交流事業補助金交付要綱			
			個別計画等	—			
			行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—
			目的 (何のために)	歴史的または文化的価値の象徴となる建造物等の保全及び活用を図る。			
			対象 (誰を・何を)	歴史的建造物及びその所有者・活用者等			
		内容	町所有の国登録有形文化財（建造物）の維持管理と町内の歴史的建造物の周知・活用活動に対し補助金を交付する。				

実施 (Do)	執行体制							
	事業費	直接事業費 (a)	単位	R04年度 (決算)	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	
		財源内訳	国庫支出金	千円	7,112	8,724	10,736	13,563
			県支出金					
			起債	千円				
			その他				3,687	6,510
			一般財源		7,112	8,724	7,049	7,053
		職員人数 (概算職員数)	人	0.45	0.43	0.32	0.32	
	人件費計 (b)	千円	2,655	2,538	1,834	1,978		
	総事業費 (a) + (b)	千円	9,767	11,262	12,570	15,541		
事業費内訳 (千円) R 07 年度		普通旅費4千円、修繕料（維持補修費）927千円、管理委託料231千円、邸園文化交流事業補助金600千円、歴史的建造物等整備基金積立金11,749千円、歴史建造物等整備基金利子積立金52千円						
指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値		
			景観重要建造物の指定数			6件		
	指標名		単位	項目	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	R08年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	景観重要建造物の指定数	件	—	3	3	6	6
	活動指標 (活動量)	歴史的建造物を活用した邸園文化交流圏大磯等の事業の開催	件	計画値	5	5	4	
				実績値	—	3		
	成果指標 (達成度等)	建物語の発行	件	目標値	1冊	1冊	1冊	1冊
実績値				1冊	1冊	—	—	
達成率	100.0%	—	—	—				
定性的成果		—						

妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	③ 増大している		
	事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
	今後も町が実施すべき事業か	④ 町民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能		
効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
	関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-③ 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない	
	過去の外部評価等における指摘事項	—		
主な改善経過 (過去4年間)	R03 (一般公開) 明治記念大磯邸園、旧吉田茂邸 (冊子) 建物語 (旧吉田茂邸/増刷) R04 (一般公開) 明治記念大磯邸園、旧吉田茂邸 (冊子) 建物語 (旧島崎藤村邸) (寄付冊子) 澤田美喜記念館 (隠れキリシタン資料館) R05 (一般公開) 旧吉田茂邸、城山庵と城山公園、国府地区巡り (冊子) 建物語 (大磯駅前洋館/増刷) R06 (一般公開) 安田邸、城山庵と城山公園、明治記念大磯邸園と駅前洋館、(冊子) 建物語 (明治記念大磯邸園/増刷)			
課題	景観や観光資源・郷土資料として貴重な歴史的な建造物について、所有者や民間団体の協力を得ながら、保存活用を検討する必要がある。			

今後の方向性の判断	区分	維持	R06年度	維持	R05年度	維持	R04年度	維持
	理由	町内に現存する歴史的建造物並びに邸宅及び庭園(以下これらを「邸園」という。)の魅力を広く発信し、本町に訪れる観光客の増加を目指すとともに、郷土の歴史・文化を次代に引き継ぐため歴史的建造物に関する冊子の作成を支援する。						
課題解決に向けて着手する取組事項	R07年度	歴史的建造物活用観光事業の支援及び歴史的建造物紹介冊子(建物語)の作成を支援する。経年劣化している大磯駅前洋館の修繕を行う。						
	R08年度	歴史的建造物活用観光事業の支援及び歴史的建造物紹介冊子(建物語)の作成を支援する。経年劣化している大磯駅前洋館の修繕を行う。						
R07年度改善事項	邸園文化交流事業補助金として、観光協会実施事業及び歴史的建造物紹介冊子増刷を支援した。経年劣化した大磯駅前洋館の修繕を実施した。歴史的建造物整備基金を用いて、町内の歴史的建造物(鳴立庵、旧島崎藤村邸)の修繕を行った。							
記入日	令和8年3月23日							

予算事業名	都市公園等管理運営事業				事業番号	03 - 12 - 17						
細分事業名	都市公園等管理運営事業				シート作成日	令和7年8月14日						
予算科目	会計	01	款	08	項	04	目	02	事業	01	事業開始年度	—
											事業終了予定年度	—
部等名				課等名				係名				
都市建設部				都市計画課				都市計画係				

計画 (Plan)	総合計画	P 56	柱	Ⅲ 快適でくらしやすいまちづくり					
			部門	15 自然環境・公園					
			大施策	C 特色ある公園づくり					
			中施策	(1) 公園づくり・管理運営					
			施策目標	町民意向を反映し、町民参加による公園づくりを推進します。					
	事業の概要			根拠法令・条例等			都市公園法、大磯町都市公園条例		
				個別計画等			大磯町みどりの基本計画		
	行政経営プラン 実施計画事業			実施番号	—		実施項目名	—	
	目的 (何のために)			町民のレクリエーション、健康増進等の場として利用されるよう公園機能の維持に努める。また、自然景観を維持するため、緑地の維持管理に努める。					
	対象 (誰を・何を)			町内の公園・緑地（公園：46か所、都市緑地：8か所）					
内容			既設公園・緑地の清掃、除草、清掃ゴミの収集運搬、樹木剪定、遊具点検、修繕等を実施するとともに、公園利用者からの要望や意見に対する対応を行っている。						

実施 (Do)	執行体制		一部委託あり								
	事業費	直接事業費 (a)	千円	R04年度 (決算)	30,188	R05年度 (決算)	32,580	R06年度 (決算見込)	41,730	R07年度 (予算)	44,015
		財源内訳	国庫支出金	千円	385						
			県支出金								
			起債								
			その他		223	273	472	12,511			
			一般財源		29,580	32,307	41,258	31,504			
		職員人数 (概算職員数)	人	0.47	0.44	1.53	1.52				
	人件費計 (b)	千円	2,832	2,597	8,905	9,525					
	総事業費 (a) + (b)	千円	33,020	35,177	50,635	53,540					
事業費内訳 (千円) R 07 年度		普通旅費5千円、消耗品費157千円、燃料費92千円、光熱水費1,466千円、自動車車検等修繕料30千円、修繕料5,069千円、手数料819千円、自動車損害保険料13千円、傷害保険料25千円、管理委託料27,290千円、保守委託料440千円、調査委託料2,000千円、用地借上料1,738千円、ソフトウェアライセンス料24千円、工事請負費4,625千円、公園緑地里親助成金222千円									
指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値				
			一人当たりの施設緑地面積				61.92㎡/人				
	指標名		単位	項目	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	R08年度 (目標)			
	対象指標 (対象者数等)	都市公園数 (都市緑地を含む。)	か所	—	55	55	55	55			
	活動指標 (活動量)	公園緑地アダプト制度及び花いっぱい運動の登録数	件	計画値	13	13	13				
				実績値	12	12	—	—			
成果指標 (達成度等)	一人当たりの施設緑地面積	㎡/人	目標値	61.92	61.92	61.92	61.92				
			実績値	60.02	60.70	—	—				
			達成率	96.9%	98.0%	—	—				
定性的成果		—									

妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
	事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
	今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
	関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである	
	過去の外部評価等における指摘事項	—		
主な改善経過 (過去4年間)	定例的な既設公園・緑地の樹木等施設管理以外に、個別で樹木剪定を行い、施設の適正管理を図っている。また、遊具に関しても法定点検の結果を踏まえ、適切に修繕等を実施している。			
課題	公園施設が老朽化している。また、公園利用者ニーズの変化も併せて見極めつつ、計画的な施設更新又は機能維持を行う必要がある。			

今後の方向性の判断	区分	維持	R06年度	維持	R05年度	維持	R04年度	維持
	理由	町民の都市公園等利用の安全、安心に資するため、引き続き適正な管理、運営を行う。						
課題解決に向けて着手する取組事項	R07年度	引き続き遊具の点検を実施し、さらに経年劣化による遊具以外の公園全体の施設の管理に努める。						
	R08年度	公園施設長寿命化計画にしたがい、引き続き遊具等の点検を実施し、さらに経年劣化による遊具以外の公園全体の施設の管理に努める。						
R07年度改善事項	安全・安心な都市公園環境を整備するため、令和6年度の遊具安全点検結果を踏まえ、既設遊具の修繕を実施した。							
記入日	港公園及びなかまる公園について、地域住民及び利用者の要望を聴取した上で、インクルーシブ遊具その他の公園施設を整備した。							
令和8年3月23日								

予算事業名	運動公園維持管理事業				事業番号	03 - 12 - 18						
細分事業名	運動公園維持管理事業				シート作成日	令和7年8月14日						
予算科目	会計	01	款	08	項	04	目	02	事業	02	事業開始年度	平成18年度
											事業終了予定年度	—
部等名				課等名				係名				
都市建設部				都市計画課				都市計画係				

計画 (Plan)	総合計画	P 56	柱	Ⅲ 快適でくらしやすいまちづくり			
			部門	15 自然環境・公園			
			大施策	C 特色ある公園づくり			
			中施策	(1) 公園づくり・管理運営			
			施策目標	町民意向を反映し、町民参加による公園づくりを推進します。			
	事業の概要		根拠法令・条例等	都市公園法、大磯町都市公園条例			
			個別計画等	大磯町みどりの基本計画、大磯運動公園施設長寿命化計画			
			行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—
			目的 (何のために)	町民のレクリエーション、健康増進等の場として利用されるよう公園機能の維持に努める。			
			対象 (誰を・何を)	大磯運動公園(野球場、多目的広場、テニスコート4面等)			
		内容	大磯町都市公園条例に基づき、指定管理者を指定し、運動公園の運営管理や自主事業の開催、公園施設の維持管理業務などを行っている。				

実施 (Do)	執行体制		一部委託あり								
	事業費	直接事業費(a)	千円	R04年度(決算)	36,895	R05年度(決算)	26,504	R06年度(決算見込)	23,076	R07年度(予算)	24,228
		財源内訳	国庫支出金	千円		1,799					
			県支出金			1,212					
			起債								
			その他			9,080					
			一般財源			24,804	26,504	23,076	24,228		
	職員人数(概算職員数)	人		0.41	0.56	0.55	0.54				
	人件費計(b)	千円		1,790	2,246	2,250	2,456				
	総事業費(a)+(b)	千円		38,685	28,750	25,326	26,684				
事業費内訳(千円) R07年度		修繕料1,653千円、通信運搬費118千円、手数料114千円、自動車損害保険料30千円、管理委託料21,612千円、物品借上料701千円									

指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			運動公園施設利用者数				15万人以上	
	指標名		単位	項目	R05年度(決算)	R06年度(決算見込)	R07年度(予算)	R08年度(目標)
	対象指標 (対象者数等)	有料施設の登録団体数	人	—	3,536	3,623	3,800	3,800
					活動指標 (活動量)	自主事業のメニュー数	件	計画値
	成果指標 (達成度等)	有料施設の利用人数	人	実績値	26			21
				目標値	67,000	67,000	67,000	67,000
				実績値	140,237	126,953	—	—
	定性的成果		—					
					達成率	209.3%	189.5%	—

妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある	
	今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある	
効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない	
有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している	
公平性	受益者負担は公平・公正か	A. 負担導入済	A-② 適正な受益者負担を導入している
過去の外部評価等における指摘事項	—		
主な改善経過 (過去4年間)	R03 指定管理者自主事業数 計画値：23項目 → 実績値：11項目 R04 指定管理者自主事業数 計画値：24項目 → 実績値：19項目 R05 指定管理者自主事業数 計画値：29項目 → 実績値：26項目 R06 指定管理者自主事業数 計画値：28項目 → 実績値：21項目		
課題	魅力ある自主事業の実施などにより、さらなる利用者の拡大に取り組む必要がある。		

今後の方向性の判断	区分	維持	R06年度	維持	R05年度	維持	R04年度	維持
	理由	利用者の増に資するため、引き続き適正な管理及び運営を行う。						
課題解決に向けて着手する取組事項	R07年度	保守委託業務及び日常点検の結果に基づき、改修の必要性が高い施設から順次改修を行う。						
	R08年度	公園施設長寿命化計画や日常点検の結果に基づき、改修の必要性が高い施設から順次改修を行う。						
R07年度改善事項	大磯運動公園の管理運営に関する課題等について、毎月の定例会の開催により指定管理者との情報共有を図った。 令和8年度からの指定管理者の選定を行い、新たに自主事業収入に対し一定の割合を町に対して納付する制度を設けた。							
記入日	令和8年3月23日							

予算事業名	花とみどり推進事業					事業番号	03 - 12 - 20							
細分事業名	花とみどり推進事業					シート作成日	令和7年8月14日							
予算科目	会計	01	款	08	項	04	目	02	事業	05				
	事業開始年度 平成18年度													
事業終了予定年度 —														
部等名					課等名					係名				
都市建設部					都市計画課					都市計画係				

計画 (Plan)	総合計画	P 68	柱	Ⅲ 快適でくらしやすいまちづくり							
			部門	21 景観形成							
			大施策	A 地域特性を生かした景観形成							
			中施策	(1) 自然風景の保全と創出 / (2) 良好な町並みの保全と創出							
			施策目標	山並みや海、町並みなどの豊かな風景を守り、育み、創ります。 / 住宅地の町並みや緑などの豊かな風景を守り、育み、創ります。							
	根拠法令・条例等			大磯町緑化の推進及び緑の保全に関する条例、大磯町緑化の推進及び緑の保全に関する条例施行規則、大磯町いけがき設置奨励事業補助金交付要綱、大磯町シンボルツリー奨励事業補助金交付要綱、大磯町花いっぱい運動推進要綱、大磯町保存樹木等助成金交付要綱							
	個別計画等			大磯町みどりの基本計画							
	行政経営プラン 実施計画事業			実施番号	—			実施項目名	—		
	目的 (何のために)			緑化の推進及び緑の保全に関し、町民及び事業者と行政が一体となり、まちぐるみで緑化を推進し、住みよいまちづくりに資することを目的とする。							
	対象 (誰を・何を)			いけがき設置、シンボルツリー植栽、保存樹木等の保全及び花いっぱい運動に要する経費							
内容			いけがき設置奨励事業に対する助成、シンボルツリー奨励事業に対する助成、花いっぱい運動(苗木及び花木の配布事業)に対する助成、保存樹木等の保全に関する経費の助成								

実施 (Do)	執行体制		職員実施					
	事業費	直接事業費 (a)	千円	541	433	630	824	
		財源内訳	国庫支出金	千円				
			県支出金					
			起債					
			その他				212	573
			一般財源		541	433	418	251
	職員人数 (概算職員数)	人	0.29	0.25	0.24	0.23		
	人件費計 (b)	千円	1,771	1,476	1,420	1,463		
	総事業費 (a) + (b)	千円	2,312	1,909	2,050	2,287		
事業費内訳 (千円) R 07 年度	消耗品費200千円、傷害保険料21千円、(公財)かながわトラストみどり財団会費30千円、いけがき設置奨励事業補助金100千円、シンボルツリー奨励補助金100千円、保存樹木等助成金238千円、花いっぱい運動事業交付金135千円							

指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			保存樹木の指定本数 / いけがき設置奨励助成の総延長				18本 / 1,000m	
	指標名		単位	項目	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	R08年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	施設緑地量	ha	—	180	180	180	180
					活動指標 (活動量)	保存樹木の指定本数	本	計画値
	成果指標 (達成度等)	いけがき設置奨励助成の総延長	m	目標値	1,000			1,000
				実績値	855	859	—	—
				達成率	85.5%	85.9%	—	—
	定性的成果		—					

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	② 廃止・休止による影響は小さいがある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである	
		過去の外部評価等における指摘事項	—		
	主な改善経過 (過去4年間)	花いっぱい運動に関しては、活動団体の自主的な運動を推進するため、従来の花苗の支給から交付金の支給に切り替え、団体の自主性の拡大を図っている。			
課題	花いっぱい運動の活動のボランティア団体数や、いけがき設置奨励助成の件数が伸び悩んでいる。				

改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	拡充	R06年度	拡充	R05年度	拡充	R04年度	拡充	
	理由	ボランティア団体の自主的な活動をさらに推進するため、交付金による活動団体数を増加させていく。								
	課題解決に向けて着手する取組事項	R07年度	町広報やホームページへの記事の掲載等により、制度の普及及び啓発に努める。							
		R08年度	町広報やホームページへの記事の掲載等により、制度の普及及び啓発に努める。							
	R07年度改善事項	広報おおいそ10月号に都市緑化月間の記事として、花いっぱい運動、緑化に関するサポート制度、シンボルツリー奨励事業、いけがき設置奨励事業、保存樹木等助成事業について記事を記載し制度の普及啓発に努めた。								
	記入日	また、シンボルツリー奨励事業補助金の予算の不足が見込まれたことから、補正予算で増額し一件でも多くの申請に対応した。								
	令和8年3月23日									

予算事業名	森林病害虫等対策自主事業					事業番号	03 - 12 - 22				
細分事業名	森林病害虫等対策自主事業					シート作成日	令和7年8月14日				
予算科目	会計	01	款	08	項	04	目	02	事業	07	
	事業開始年度										昭和57年度
事業終了予定年度										—	
部等名					課等名					係名	
都市建設部					都市計画課					都市計画係	

計画 (Plan)	総合計画	P 68	柱	Ⅲ 快適でくらしやすいまちづくり																	
			部門	21 景観形成																	
			大施策	A 地域特性を生かした景観形成																	
			中施策	(1) 自然風景の保全と創出																	
			施策目標	山並みや海、町並みなどの豊かな風景を守り、育み、創ります。																	
	事業の概要			根拠法令・条例等									森林病害虫防除法								
				個別計画等									大磯町松くい虫被害対策自主事業計画								
				行政経営プラン 実施計画事業			実施番号			—			実施項目名			—					
				目的 (何のために)			町内の森林における松くい虫による被害拡大の防止及びナラ枯れ被害対策を図る。														
				対象 (誰を・何を)			松くい虫被害対策自主事業計画に基づいた松、ナラ枯れ被害木														
			内容			松くい虫被害の予防対策として樹幹注入を行うとともに、松くい虫の駆除対策として特別伐倒を行う。また、ナラ枯れ被害木の伐採を行う。															

実施 (Do)	執行体制		一部委託あり										
	事業費	直接事業費 (a)		単位	R04年度 (決算)		R05年度 (決算)		R06年度 (決算見込)		R07年度 (予算)		
		財源内訳	国庫支出金		千円	5,549		5,468		5,045		5,766	
			県支支出金		千円	1,190		939		1,208		1,243	
			起債										
			その他										
			一般財源			4,359		4,529		3,837		4,523	
		職員人数 (概算職員数)		人	0.39		0.21		0.35		0.34		
	人件費計 (b)		千円	2,360		1,239		2,071		2,163			
	総事業費 (a) + (b)		千円	7,909		6,707		7,116		7,929			
事業費内訳 (千円) R 07 年度		森林病害虫等被害対策委託料1,071千円、松くい虫被害対策委託料4,674千円、苗木代21千円											
指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名					目標値					
			—					—					
	指標名		単位	項目	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	R08年度 (目標)					
	対象指標 (対象者数等)	樹幹注入対象木の本数	本	—	210	210	210	210					
					計画値	59	43	16	11				
	活動指標 (活動量)	樹幹注入対策の実施本数 (210本/6年ローテーション=35本)	本	実績値	60	50	—	—					
				目標値	20本以下	20本以下	20本以下	20本以下					
成果指標 (達成度等)	松くい被害木特別伐倒実施本数	本	実績値	17	43	—	—						
			達成率	—	—	—	—						
定性的成果		—											

妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
	事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	② 廃止・休止による影響は小さいがある		
	今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
	関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-① 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある	
	過去の外部評価等における指摘事項	—		
主な改善経過 (過去4年間)	明治記念大磯邸園エリアの樹幹注入について、令和4年度から補助金の対象とすることができた。			
課題	平成29年に補助金の対象となる樹幹注入対象木の考え方が示されたことにより、補助金の対象となる松が減少するため、場所に応じた適切な防除方法や他の補助金の活用ができるか等の検討を進める必要がある。			

今後の方向性の判断	区分	維持	R06年度	維持	R05年度	維持	R04年度	維持
	理由	町内に残る貴重な松を今後も維持保全していくため、松枯れの防除等は引き続き事業を継続していく。併せて、ナラ枯れ被害木の伐採により、ナラ枯れ被害対策を図る。						
課題解決に向けて着手する取組事項	R07年度	国の制度改正に柔軟に対応し、確実な松くい虫防除及びナラ枯れ被害対策を実施する。						
	R08年度	国の制度改正に柔軟に対応し、確実な松くい虫防除及びナラ枯れ被害対策を実施する。						
R07年度改善事項	松くい虫被害対策として被害木特別伐倒及び樹幹注入を行うとともに、ナラ枯れ被害対策として被害木の伐採を行った。							
記入日	各管理箇所松の木を多く有する国、県及び町及び民間会社をメンバーとした「松枯れに関する情報交流会」に参加し、松くい虫被害対策に係る情報共有を行った。							
令和8年3月23日								